

関西大学大学院文学研究科副専攻「EU-日本学」 「EU-日本学講義」特別講演会

関西大学大学院文学研究科副専攻「EU-日本学」の開講科目「EU-日本学講義」では、松原史氏（京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程・日本学術振興会特別研究員）をお招きし、下記のとおり特別講演会を開催いたします。多数のご来聴をお待ちしております。

テーマ：刺繍が結ぶ日本とヨーロッパ

講師：松原 史氏

（京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程・日本学術振興会特別研究員）

使用言語：日本語

日時：2013年12月17日（火）18：00～19：30

場所：尚文館 404 講義室

講演要旨

小はハンケチから、大は皇室専用のお召列車装飾、ヨーロッパ王室を彩る刺繍絵画やタペストリーまで、刺繍は、近代化を急ぐ日本の有力ブランドとなり盛んに制作されました。その結果、刺繍は生産地京都とともに大消費地である欧米各地に残され、それぞれ日本コレクションの珍品となりましたが、これまで絵画や仏像などのように体系だった調査がされずにいました。刺繍をみずから趣味とする松原さんは、この未開拓の分野に単身挑戦、近年、ヨーロッパ各地を精力的に調査し、京都に残された刺繍の遺物との照合をすることで、日本刺繍の辿った道を解明しようとしています。

今回の特別講演会は、若手研究者に、日欧文物交流に関わる最新の研究を紹介してもらうことで、EU-日本学講義の可能性と課題を考える場となることを期待します。院生諸君の積極的な参加を歓迎します。